



区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供 (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	5	1		25			1		
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	6			/	/	/	/		
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>メンバーによってできる活動、やりたい活動は固定化傾向もあるがチームやルールを変えて工夫している</li> <li>同じ活動内容でもやり方を変更している</li> <li>固定化しないようにはしているが、月によってマンネリ化していることもある</li> </ul>	22	1		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>お子様の発達の刺激になる新しい活動を立案していきます。</li> <li>職員全体でプログラムの計画、立案を行っています。</li> </ul>	
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>平日はミーティングの時間があるが休日、長期休暇は難しい場合もある</li> </ul>	/	/	/	/		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>毎朝行い、その日に利用する子に合わせた内容に変更している</li> </ul>	/	/	/	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後もその日利用するお子様の状況で支援内容を変え、注意すべき点を周知していきます。</li> </ul>	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援終了後の打合せはできていない</li> <li>翌日には全体で共有している</li> </ul>	/	/	/	/	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	6			/	/	/	/		
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>毎度全体での話し合いを行い、意見を取り入れ最終チェックの回覧も行っている</li> </ul>	/	/	/	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も指導員全員で支援内容を話し合い作成していきます。</li> </ul>	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	5	1							
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施									
関係機関との連携(続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備									
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	1	4	1	・相談員さんの働きかけにより温度差が生じている ・学校での引き渡しの際情報共有出来ているところもある					・情報共有の場を待つのではなく、積極的に働きかけるよう努めます。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	2	1	3						
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	1	2	3	・以前に比べ研修の案内が減ってきている					・リモート研修が増え、関係機関との交流の機会が減っているが、今後積極的に参加するように努めます。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	3	2	1	・公園あそびや児童館にて、地域の子ども達も含めて遊んでいる	9	5	1	11	・児童館や公園等で外部の方々との関わりを増やしていきます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		2	4	・感染予防の観点から実施は難しかった					

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	6				23	2	1		・保護者様にも理解していただけるよう丁寧な説明をしていきます。	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	6				24	2				
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	1	3	2	・帰りの送迎時や面談の際助言等を行う場合もあるが、まとまった時間を確保しての実施には至っていない ・ペアレントトレーニングを実施し今後の課題もみえた	15	4		7	・家族支援を手厚くしてもらっている ・積極的に取り入れたいので機会があれば知りたい内容です	・ペアレント・トレーニングのスキルアップの為に研修には積極的に参加していきます。
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	6				26				・活動の様子や支援の仕方・声掛けなどデイでの様子をいつも分かりやすく伝えてもらっている	・お子様の変化には今後も積極的にお伝えしていくよう努めます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	6				23	3				・保護者様との定期的な面談を今後も実施していきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	6			・今年度は実施することが出来た	16	2	1	7	・必要性を感じていない ・参観日に参加して、保護者同士の交流の場にもなる良い機会であると同じ、支援されていると感じた ・まだ一度も参加できてないので次回は是非したい	・年2回を目標に保護者様にも参加していただけるイベントを企画していきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	6			・文書として理解したい	17	3		6		
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	6				24	1		1		
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	6			・カレンダー、ブログ、お知らせプリントで発信している	22	1		3	・子どもと一緒にブログを見て活動の様子を聞いている	・月1回の更新ではありますが、皆さまに見ていただけるようブログの紹介をしていきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	6				24			2		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
非常時等の 対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	5	1		・保護者に対して周知できていない	23	1	2		・年1回見直し、ご家庭への説明、配布をしていきます。	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	6			・年2回(9月、2月)に実施している	24		2		・地震、火災、不審者等全員が体験できるようスケジュールを組んでいきます。	
非常時等の 対応(続き)	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	6				/	/	/			
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	6				/	/	/			
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	4	2		・子ども達への説明は分からない	/	/	/	/		・医師の指示書が必要なお子様はいませんが、アレルギー表は作成し全員が確認できるようにしています。 ・定期的に確認、更新を行っていきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	5	1		・ヒヤリハットの意識は以前より強くなり、全体で振り返ることで、注意喚起ができています	/	/	/	/		・引続きミーティングで検討、再発防止を考えていきます。